

運輸総合研究所 第147回運輸政策コロキウム
バンコクレポート ～スタートアップシリーズ その3～
「世界の工場」ASEANの発展とタイの港湾政策

～世界経済を支えるASEANにおける港湾の役割～

坂井 啓一

運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所
研究員



<略歴>

2010年東京大学工学部社会基盤学科卒業、2012年東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻修士課程修了。2012年に国土交通省に入省し、航空局、国土技術政策総合研究所での勤務を経て、2015年～2019年の4年間、港湾局計画課において港湾事業評価、港湾の中長期政策「PORT 2030」の策定や全国輸出入コンテナ貨物流動調査等の統計調査に携わる。2019年より関東地方整備局港湾空港部クルーズ振興・港湾物流企画室、同部港湾計画課において物流高度化、クルーズ船旅客の受入円滑化、港湾整備事業の事業評価・調査業務に携わる。2020年7月より運輸総合研究所に出向し、在バンコク事務所開設準備室研究員としてアセアン・インド地域事務所の立ち上げを担当。2021年4月にアセアン・インド地域事務所研究員(現職)としてバンコクに赴任。